

平成30年度 学校自己評価システムシート (武南中学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	1 日々の学習学習に支えられた豊かな教養の育成 2 きめ細かな躰・生活指導による優れた人格の育成 3 グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成
--------	---

重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行うことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	3名
-----	-------	----

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価 (2月20日現在)			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	授業の充実・改善	1 基礎力(1,2年)を身につけさせた上での応用力(3年)の指導 2 生徒の実態を把握し効果的な先取り教育の実施 3 生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法の研究 4 基礎学力を身につけさせるための授業時間確保 5 学力向上	1-①教員の資質能力向上を図る研修の実施 2-①国語・数学・英語の先取り教育を実施する 3-①教室訪問・授業参観を行い、よりよい学級づくり授業づくりに取り組む校風を醸成する 4-①予習・復習の奨励と学習時間の確保 5-①学力向上講座の実施	○全教員の授業観察と意見交換の実施(5,6月) ○「授業力」自己診断シートに基づく自己分析 ○学力推移調査の結果分析	・授業観察シートを活用し全員の授業を参観後、個別に指導を行った ・先取り教育を実施し、2年次で中学校数学を終了 ・最低午前1回、午後1回は校内を巡回し、短時間ではあるが授業の参観を行っている ・自学習の奨励と提出物の期限を守らせるようになった ・学力向上講座を第2土曜日に実施	B	・授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ・教員相互の授業研究を進め、授業実施上の課題等を共有し各自の指導力を高める ・英語教育の充実発展を図る(英会話の時間を帯状に取る・ネイティブorALTの導入) ・BASL(Bunan Advanced Self Learning)の時間を確保し、生徒の振り返り力を伸ばし学力の向上を図る ・学力向上講座について	・授業中の生徒の手ごたえが今ひとつ伝わってこない気がします。一人ひとりの能力を引き出す魅力ある授業の展開を望みます ・特任教諭の存在が生かされることを望みます ・英語力向上のための工夫が必要 ・特任教諭の増員は教員のワークバランスが図られ、より充実した授業、指導力が向上すると思えますので期待します ・先生方の個性ある授業が生徒の学力を伸ばしています
2	開かれた学校づくり	1 学校説明会・学校公開・入試体験会等々による教育活動の公開 2 近隣小学校との交流活動の拡充 3 組織による通年の生徒募集活動 4 教育活動の情報発信	1-①参加者増を図るため保護者塾関係者に周知する 1-②保護者対象の講座を実施 2-①小学生対象の公開講座を実施 3-①川口・蔵・戸田・さいたま市を中心に行う 4-①HPの更新を週3回は行う	○興味関心を抱く広報を周知し学校説明会学校公開等を実施 ○月1回の中学校便りを蔵市教委・市内小中学校・市内公民館に配布 ○公開講座を5回実施する ○市内行事への積極的参加 ○学年・クラス通信の発行とリアルタイムでのHP更新	・説明会参加者及び受験者は増えたが、入学希望者が少ない。合格者辞退率90% ・毎月の中学校便りは欠かすことなく配布している ・塚越小との連携を行った ・HPやポータルサイトの更新は増えたが更なる努力が必要	C	・学校だよりの配布により、参加者が増えている。公共機関にはカラー刷りを配布したい ・管理職による塾訪問の回数を増やす ・HPの更新が週に3回行うことができなかったため必ず更新させる ・小学生対象の各種体験会(宿題を教える等々)を実施する	・かなり細かく周知されたことは高く評価する。入学したいと思えるよう説明会などもうひとつ工夫を ・HPは学校をアピールできる手段のひとつ。ぜひ更新の継続を ・囲碁なども交流をした方がよい ・受講した小学生や保護者の意見を伺いたい
3	進んで行うことができる自主性と学力の向上	1 学習時間の確保を学校全体で取り組む 2 朝読書・BASLを確実に行う 3 予習・復習を計画的に行い学力向上を目指す 4 道徳授業の充実を図り、規範意識を高める	1-①小さな時間を積み上げて確保させる 2-①生徒だけではなく学校全体で朝読書を行う 2-②BASLの時間を確実に確保し一日の反省と明日への準備をさせる 3-①長期休業中に実施する講習は、現状分析を行い学力向上を図る 4-①教科化になることを意識させ取組ませる	○学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保 ○入学当初にHR合宿を行い、中学での学習(学習の量、スピード、質)を学ばせる ○スタディサプリの活用 ○道徳の研究授業を行う ○生徒による規範意識向上の取組み	・早朝の自学習等々、小さな時間の積み上げが大切であることを全教職員で指導している(スタディサプリの活用) ・HR合宿、Englishキャンプ、学習合宿を実施し、学習方法を学ばせた ・2年のアジア研修では事前学習を有効的に行っている ・囲碁のある週は金曜日でも7時間にし道徳の時間を35時間確保した	B	・中学生としての学習方法を確実に身につけさせる ・家庭学習をはじめ学年+1時間の自学習を毎日行わせる(特任教諭を活用し、放課後の自学習を支援する) ・高校進級時の進級テスト(併1の入試問題)で好成績を取るようにする	・学年によって学力の差が生じないよう具体的課題を徹底して挑戦させる ・家庭学習の充実を ・囲碁には集中力、先読み力、思考力、忍耐力など様々な能力が身に付くのでより充実し期待します
4	生活指導の徹底	1 生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める 2 凡事徹底により、規範意識を高める 3 挨拶の励行	1-①教職員の共通認識による攻めの生徒指導を徹底する 2-①授業に取り組む意識の向上を図る 2-②時間を守る・服装を正す等々繰返し指導を行う 3-①挨拶をすることにより、自己の存在をアピールさせる	○登下校の指導を行う ○個々の教師に負担がかからないよう問題を共有し学校全体で取り組む ○教職員が率先して行う	・教師の力量に差があるため学校全体としての共通認識がまだまだ持っていない ・毎週水曜日に行う中学校の会議で報告連絡等遺漏のないよう実施した ・凡事徹底を教職員が率先垂範するよう指導している	B	・凡事徹底を強化し、生活規律・学習規律を高める ・事後処理の指導ではなく攻めの生徒指導を行うようにさせる ・各委員会活動を活性化し生徒による自治ができるようにさせる	・教師の力量の差を縮めるための対策なくして生活指導、凡事徹底の強化にはつながらないと思います ・教師、生徒共に凡事徹底の更なる励行に期待する ・少ない人数であるが校内に挨拶が飛び交うような明るさがほしい ・挨拶できる生徒が少ない
5	部活動・学校行事等の充実・振興	1 部活動の時間の確保 2 委員会活動を奨励して自治意識を育てる 3 生徒の意識を高める学校	1-①活動時間を確実に確保する 2-①協力することにより個々を磨く場とする 2-②地域に貢献できる生徒会活動 2-③高校生の規範意識を学ぶ 3-①生徒会活動の充実	○優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ○クリーニンググリーン作戦を学期に1回実施する ○高校生との活動を実施し母校愛を育てる	・朝礼等の時間に各種の賞に輝いた生徒を全校の前で顕彰している ・クリーニング作戦を実施した	B	・部活動を週に2回以上部活動を行える様に行事を精選する ・学校行事に生徒が主体的に取り組めるよう指導する	・心身ともに鍛えが必要な時期、是非部活動の充実を ・地域に貢献する姿をもって武南中をアピールし、同時に生徒の心を養う場として今後も継続してほしい